

肝炎ウイルス検査の重点勧奨(普及啓発)について

取組の方向

府がん対策推進計画にて肝炎ウイルス検査の受診促進のため「感染の高リスク集団を特定し、累積受診者数の増加を図る」こととしている。それに基づき令和元年度肝炎肝がん対策部会にて、「60歳代から70歳代を重点勧奨の対象集団とする」ことに決定。

→重点勧奨の対象集団を中心に普及啓発をより一層強化。

＜令和6年度までの取組み＞

1. メディアの活用（令和4年度～）

SNS・府政だより・健康アプリアスマイル等を活用した啓発の実施

2. 肝疾患診療連携拠点病院や健康サポート薬局、企業等との連携（令和2年度～）

拠点病院イベントでの医師による参加者への呼びかけによる効果的な受検勧奨

健康サポート薬局でのチラシ配架

協会けんぽや民間企業等と連携したPR

3. 市町村・市民病院・地区医師会への働きかけ（令和元年以前～）

好事例（重点勧奨対象への個別勧奨ハガキの送付等）を市町村に共有。市民病院に対し、府・市検査の受検勧奨・検査実施・陽性者フォローを要請。

＜取組み後の実績＞

令和元年度：4,702件（うち60～70代：1,254件）

令和2年度：4,860件（うち60～70代：1,098件）

令和3年度：4,688件（うち60～70代：1,252件）

令和4年度：4,540件（うち60～70代：1,478件）

令和5年度：5,454件（うち60～70代：2,281件）

令和6年度（4月～11月）：3,606件（うち60～70代：1,355件）

＜令和7年度の取組の方向性＞

- ・ 令和6年度までの効果を踏まえ、拠点病院、サポート薬局、企業、市町村等と連携した取り組みを継続して実施
- ・ 福祉施設の職員を対象とした啓発動画を作成し、受検勧奨及び入所拒否などがないよう正しい知識の普及啓発を実施予定

